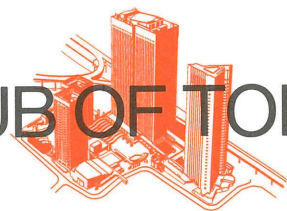




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Sow the Seeds of Love

「ロータリー：慈愛の種を播きましょう」

「ロータリーで喜びを！—参加しよう、友達になろう、クラブライフを楽しもう—」

2002～2003年度・国際ロータリーテーマ／ビチャイ・ラタクル会長

2002～2003年度・東京新南ロータリークラブテーマ／吉田用親会長

【本日の例会】5月9日 第791回例会

◎卓 話

「ファイブ・ア・ディ(5 a day)運動とABC論」

ギャラリー新宿高野

支配人 天 野 秀 二 氏

(紹介者 土屋会員)

【前回報告】4月25日 第790回例会 第2750地区 地区大会に振替

日 時 4月20日(日)、21日(月)

会 場 新高輪プリンスホテル 飛天

ホストクラブ 東京駒場ロータリークラブ
(当クラブ出席32名)

◎大会1日目

当クラブ会員は立正高校ブラスバンドのウエルカムミュージックの中をほぼ1個所に固まり着席。松崎勝一ガバナーの点鐘に続き韓国と日本の国歌斉唱、韓国国歌は韓国から来賓のご夫妻の朗々たる斉唱で、君が代は会場全員の斉唱であった。

松崎ガバナーによるRI会長代理姜順鉉氏、代理令嬢姜周延様そして来賓紹介があり、RI会長代理の達者な日本語による挨拶があった。今年度の『慈愛の種を播きましょう』というテーマに基づき、世界中に幅広く慈愛の種を播くロータリー活動の重要性を話された。

休憩後、新世代紹介、米山奨学生紹介があり、ユースアクトクラブで作った『私が大きくなった時』を地区インターアクト委員長海沼美智子さん指導の音羽ゆりかご会のメンバーが斉唱した。

この後新世代フォーラムとして、中・高・大・大学院生参加のパネルディスカッションで環境活動体験発表と意見交換が行われた。中高でも環境活動として生ゴミや・トイレトペーパーのリサイクル、エコ商品の利用、節電・節水等考え、ISO14000取得も結構行われている現状を知ることが出来た。大学生からは『環境ロドリゲス』というコンビニの環境改善を考える会をトヨタの助成で作り、早稲田大学及び周辺地域で行っている活動内容が発表された。いずれにしても若い人達が真面目に取り組んでいるのがわかり将来に明るい気持ちを持てた。

また、外国人として参加のネパールからの女性(名前はソルバークさん?)からネパールではまだ自然のリサイクル時代なので… 日本でも50～60年前は自然のリサイクルだったでし



よう、と話され『あなたは環境主義ですか?』として日常、環境について配慮する意識の重要性をうたっていた。

なお大会の期間を通じて友愛の広場で『心豊かな社会を目指して』をテーマに環境・福祉・文化・健康・社会奉仕等様々な展示が行われていた。(清水 記)

◎大会2日目

22日(月)の2日目は9:30からの入場式と参加クラブ紹介で始まった。当クラブの会員は2箇所に分かれてしまったため、ステレオで聞の声を上げた。正面に掲げられた当地区の数字「2750」を各クラブのバナーで表す、という趣向に会場から賛嘆の声が上がった。



松崎ガバナーの点鐘に続き、前田二生氏(駒場RC)指揮による東京レディース・シンガーズの美しいハーモニーで参加国の国家斉唱が行われた。松崎ガバナーより、当地区は服部禮次郎氏を初代ガバナーとする設立23年目の新しい地区であり、設立以来RIの方針に素直に従ってきた、ロータリー活動はガバナーが行うのではなく会員個人が行うものだ、職業奉仕を中核とする4大奉仕とR財団、米山奨学金への寄付にも大いに貢献してきた、等の報告があった。

RI会長代理の姜順鉉氏は流暢な日本語で、「慈愛」がロータリー活動の原動力であり、慈愛の種を蒔くロータリー活動を推進しなくてはならないと述べた。韓国に渡って、恵まれない子供達に奉仕した日本人女性を例に挙げ、奉仕は事務的に行うのではなく、善意と思いやりがなければ駄目であるということを強調した。お年寄りにとっては、寄付をもらうよりも、手を引いて道を渡るのを助けてくれる小学生の方がありがたい、との話もあった。「巧言令色、鮮矣仁」という諺を例に挙げて、行動を伴った奉仕をすることで人格が高まり、結局は「自分のために奉仕する」ことになる、と行動することの重要性を力説(私も同感)。



続いてRI第3650地区総裁(ガバナーのこと)李氏も、本来は日本語ができないが、友好を深めるため、米山奨学生に翻訳してもらったというスピーチを日本語で行った(会場から喝采)。各委員会報告に続く大会決議案採択は、挙手多数で可決された。小泉首相からの祝電も披露されたが、どうして首相がロータリーの地区大会のことを知ったのか、日本で行われる他の地区大会にも祝電を送るのだろうか、などという素朴な疑問を抱きながら、昼食会場に向かった。

午後1時からラタクル会長の講演。45年に及ぶロータリー

経験を基にユーモアと情熱を交えて語られた。ロータリーの良い点として、ポリオプラス、ハリケーン被災地への寄付、アフガン難民への援助、などを挙げたが、逆に懸念すべき点として、連続性に欠ける点とロータリーの基本精神、すなわち職業奉仕の原則が忘れられてきており、会員増強のために会員のレベル低下が懸念される、ということが挙げられた。講演は英語であったが、同時通訳ではなく会員（名前は聞き忘れたが）が壇上に上がり、逐時通訳を行った。その翻訳された日本語も素晴らしいものであった。あのような英語の達人もいるとは、さすがロータリーは人材の宝庫である。



ラタクル会長の講演の後には、世界平和奨学生制度プログラム紹介とICUのスティール教授の講演が行われたが、参加者の数が大幅に減ってしまったのはがっかりした。講演者や地区大会のホスト及びコ・ホスト・クラブに大変申し訳ない思いがしたので、帰った会員に成り代わり、心の中でお詫びの言葉を述べておいた。松崎ガバナールは、「午前中は圧巻、午後は閑散」と表現し、会場の苦笑を誘っていた。

姜RI会長代理の、「永遠に忘れられない地区大会だった」という講評で、延べ3500人の参加を得た地区大会は、2日間に亘る正式行事の全てを終了し、懇親会に移った。懇親会では、東京レディース・シンガーズにより、韓国の歌、日本民謡、ビートルズ・メドレーなどが歌われ、最後に参加者全員が手をつないで恒例の「手に手つないで」を歌って、地区大会は全ての日程を終了した。（圓谷 記）

【前々回報告】4月18日 第789回例会

◎慶事披露

誕生日祝／小杉眞史君（4月18日）

100%出席祝／清原元輔君（8年）、村山公士君（7年）、
圓谷正和君（5年）、尾関武男君（3年）

◎出席報告

会員66名／出席43名・欠席23名（出席規定免除者9名）
ビジター1名、ゲスト3名



4月18日／16件 37,000円

2002～2003年度合計 1,252,643円

多額のご寄付有難うございました。

小杉眞史／本日並びの誕生日祝いを頂きました。村山公士・清原元輔・圓谷正和・尾関武男／皆勤賞有難うございます。吉田用親・小杉修造・渡部一元・高須康有・新保國彦・岩上義明／先週の旅行、親睦の皆様、荒木さん、石井さんご苦勞様でした。楽しく有意義でした。ティエリ・コンシニ／水上では皆様にお会いできてとても嬉しかったです。福島賢哉／先日の親睦旅行にご参加頂き、有難うございました。入沢頼二／木下さん、北村さん、ようこそいらっしやいました。土屋東一／ゴールデンウィークが楽しみです。後藤完夫／失礼ばかりで申し訳ありません。

（紙面の都合でコメントを一部省略、纏めさせて頂きました。）

第5回クラブ協議会

テーマ 「大いに語ろう これからの社会奉仕」

（と き） 4月18日（金）例会後 13:10～14:30

（会 場） 東京全日空ホテル B1 オーロラ

（出席者） 青野、コンシニ、福島、早川、入沢、石井、岩上、ジョン、開発、勝山、岸、小杉（眞）、小杉（修）、村山、西澤（正）、大日方、尾上、尾関、四分一、清水、新保、庄司、高須、竹本、武下、谷村、土屋、塚田、圓谷、渡部、渡邊、山川、吉田（用）、吉岡 （34名・敬称略）

吉岡幹事の司会に始まり、まず吉田（用）会長から「四つの奉仕」のうちで実感味わうことができるのは社会奉仕であり、活動に参加して喜びを味わおうとの挨拶があった。

高須社会奉仕委員長からは、過去の社会奉仕活動及びアイメイト協会への補助、「泉の家」について、詳細な資料に基づく説明がなされた。更に、当クラブとしては創立以来、地域社会調査委員会との連携により、地区のニーズに合った社会奉仕活動をしてきたが、活動を通して感動と喜びの共有が得られたことが最大のメリットであったとの感想が述べられた。

今年度の活動として、5月に計画されている風の子会の説明と忘年家族会のチャリティ・バザー、Special Olympicsへの補助に関する報告がなされた。高須委員長に続き、今年10回目となる風の子会主催「障害者は外に出よう」に第2回目から継続参加の渡邊会員からは、当クラブが風の子会の活動に参加するようになった経緯と現在までの活動に関する説明がなされ、最後にこの活動に参加して達成感を皆で一緒に味わいましょう、との呼びかけがあった。

後半の『これからの社会奉仕』では渡部一元会員、ジョン会員、そして岸会員、岩上会員からそれぞれの実経験に基づいた話があり最後に尾関副委員長がまとめられた。

渡部会員からは社会環境の変化としてNPOが社会奉仕の基礎になっていること、日米の奉仕というものに関する格差、例えばNPOの数でも1万団体と150万団体という現状が紹介され、今後の方向として、他に対する奉仕から自立性・自発性すなはち自己充足・自己実現・自己研鑽という傾向が見られる、との話があった。

ジョン会員からは、職業音楽家という表現より聴いてもらい楽しんでもらうことに喜びを感じる、との話があり新大久保の事故で亡くなった方にたいするチャリティーコンサートや知的障害者に対するチャリティーコンサートの難しさ等の経験談があった。

岸会員からは細川元総理夫人の卓話からスペシャルオリンピックスに興味を持ち映画『エイブル』試写会を行った話、岩上会員からは米山奨学生のカウンセリングから地元麻布での各種チャリティー実践の話があった。

最後に大日方会員により『ロータリー100周年プロジェクト』に関する現状につき、準備委員会、作業スケジュールそして役割分担に関する説明があった。この作業の中心となるプロジェクトは総合美術展であり、会期2004年10月ないし11月に予定している。新南RCと現在設立準備中の麻布RC主催とし、学校を中心として広く地元に密着したものにする。これはRCのPRとしても重要である旨説明があった。（圓谷・清水 記）

【次週予告】5月16日 第791回例会

◎卓話予定

「スポーツとリーダーシップ」

日本体育大学大学院 教授
スポーツアナリスト

西 田 善 夫 氏
（紹介者 立林会員）

東京新南ロータリークラブ (<http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth>)

〔会長〕 吉田用親 〔副会長〕 小杉修造 〔幹事〕 吉岡塚磨

〔会報委員長〕 圓谷正和 〔今週の担当〕 清水 實

事務局／〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp

例会日・例会場／毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111